

ぬまじ憲法9条の会

131号

事務局
神田健夫
921-7755

改憲項目はなに？と弄ぶ 改憲ノ一の草の根世論こそ

14年、集团的自衛権行使容認 15年、安保法制(戦争法制)と、安倍内閣は憲法違反を重ねてきた。

16年、参院選で改憲に向け“圧勝”。この年末、会期末のドサクサに、TTP法案、年金カット法案ばかりか、突然賭場を公認するカジノ法案まで持ち出し強行採決。

「自民党は強行採決しようとしたことはない」「アベノミクスの結果賃金は上がっている(労働者の実質賃金はこの25年々下がっているのが実際)」「福島原発はアンダーコントロール(制御)している」「南スーダンの現状は戦闘ではなく衝突だ」「オスプレイは不時着た(実際は墜落)」と平気で嘘を吐き続ける。

平気で嘘を吐き続ける

マスコミは、この内閣のことをまともにチェックしないんです。だから、内閣支持率は50%とも60%とも言われ高止まり。

ともかくアベちゃんが好きなのも多いいですね。それに、マスコミは、安倍内閣の政策・動向を先走って決めていく、あるいは唯々諾々と従っていく。何しろ節目節目に安倍ちゃんとお酒を交わすんですもの。クリスマス・12月24日には、一市民にすぎない橋下徹君と改憲の策を密談？自民党改憲草案は大事にしなから、「本丸9条は難しいから、改憲項目は何にしようかな？」と、憲法を弄

ぶ。怖ろしいかぎり。だからこそ、憲法を壊すなど、草の根世論を、一人ひとりが広め、強めよう。

1月8日 新成人にリーフレット配布

沼津市の成人式が1月8日に行われます。

例年9条の会は、駅北、香陵、大平、原、今沢の各地域で、新成人にリーフレットを手渡しています。今年も取り組みます。みなさんのご協力をお願いします。

*集合場所、時間等は各9条の会にお問い合わせを。

3月11日に

♪ 9条がんばれ
春のコンサート

グループ鳥の歌が、3月11日に12回目の春のコンサートを行います。

あなたもどうぞ

♪バイオリン池田敏美さん
♪ピアノ 藤井裕子さん

□曲目 ニグン(ブロッホ)
葉加瀬太郎のエトピリカ

(情熱大陸) 鳥の歌 望郷
のバラード 他

□3月11日(土)
開演13時30分

□市民文化センター
2階 大会議室

□会員券 2000円

予約のみ(全席102席)
発売は1月16日より、
予約は、和田あてに

☎055192311978

南スーダンから撤退を
戦争法を廃止に

1月のスタンディング

駅前での呼びかけ

□沼津駅南イーラDe前
□14日、21日、28日、
いずれも、土曜日

13時30分〜14時15分

憲法があぶない

1月の集会・パレード

□1月22日(日)

13時30分 集会

14時00分 パレード

□沼津中央公園(荒天中止)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

憲法があぶない
12月・集会・パレード

戦争させない憲法壊すな沼津の会呼びかけの集会・パレードが12月11日に。自衛官の母親が、南スーダン派兵は憲法違反と派兵差止めを提訴しました。その原告平和子さんの訴えが紹介されました。沖縄・高江を訪問した女性が、辺野古新基地建設、高江着陸帯のことを広げていこうと呼びかけました。

続いて「お母さん」の母親の「声を出し続けよう」との訴え、また、子ども食堂の取り組みの発言の後、パレードに。



プーチン訪日、真珠湾訪問 外交はショーでいいのか

12月、安倍首相の派手な外交ショーが続いた。

まずプーチン訪日

「露日間に領土問題は存在しない」（プーチン大統領談）を前提にして、南クリール諸島での（ロシア主権下の）共同経済活動、経済協力に合意したと、ロシアTVは報ずる。

*経済協力13千億円

国民の大半はガツカリ

今回の鳴り物入りの日露交渉の結果は、この報道内容が核心を示している。二階自民党幹事長も「国民の大半はガツカリしただろう」と述べたほどである。

しかし、それだけに、安倍首相は慌ててテレビに出演しまくり、ほとんどの日本のマスコミがその粉飾に協

力したのである。

欧米では、ロシアのクリミア併合、ロシアの空爆（1万8800回）に、戦争犯罪に厳しい態度をとり、日本も経済制裁も行っているというのに。

クリミア併合シリア空爆

こうした中、安倍首相は「プーチンとの蜜月」を最大限アピールし、全世界に醜態を晒したと捉えるべきだろう。

次に真珠湾訪問

1941年12月8日、真珠湾攻撃の1時間前に日本軍はマレー半島に上陸作戦を敢行した。その10年も前、日本軍は柳条湖事件を引き起こして以来、中国大陸への侵略戦争を続けてきた。その泥沼の上に日本は太平洋戦争を引き起こした。これが歴史的事実である。

アジアは眼中にない

安倍首相は、これらを不

問に付した。戦後70年の安倍談話の内容・構造を合わせて考えるなら、アジアに対する加害責任は安倍首相の眼中にはないのだろう。

日米同盟の深化といひたすらアメリカに縋り付く。世界規模で日米一体の軍事活動を展開する、これが実像である。

突然の靖国参拝

驚くことに、真珠湾に同行した稲田防衛大臣が、その翌日靖国神社に参拝した。安倍首相は、和解、不戦を演出しつつ、侵略への反省は拒否する。それを体現するかのような行動である。米国にとっても韓国・中国にとっても日本の私たちにとつても、騙し討ちのようないがたい靖国参拝であった。

ゴルフ場で問われて安倍首相は「ノーコメント」と答えた。これで分かった。安倍首相にとって外交はテレビ映りのためのショーにすぎないのだ。信義も道理

もないのだ。

外交ショーの結果か、安倍内閣の支持率がまた上昇したと報じられた。それだけに、この外交ショーとマスコミについて考えてみた。

（手）

年金カット法

その内容は分かりにくい。でも、2019年10月に消費税が増税されると、増税で物価が上がっても年金は間違いなく下がる。将来世代の年金も下がる。だが、このルールが始まるのは2〜5年後で、発動させない闘いはこれからだと年金者組合は言っている。そうか、頑張らねば！

軍学共同、1.8倍の予算

防衛省の研究資金提供が、16年度6億円から17年度予算案では100億円に1.8倍に増額される。

「死の商人」・軍事産業を育て、武器輸出を解禁す

る方針を土台にしている。研究者の反対の運動が広がっている。

南スーダン

南スーダン政府への武器禁輸などの国連決議に日本政府は中国、ロシアとともに棄権した。道理がない。自衛隊は撤退を。学校、病院、水道など民生支援こそ、日本の出番ではないのか！

沖縄 高江 辺野古

安倍内閣は、高江の着陸帯を年内完成、司法人事にも介入し辺野古訴訟勝訴。オスプレイが墜落した。だからこそ、沖縄県民はあきらめずに闘う。翁長知事、稲嶺市長は、法的権限を行使して闘う。

核兵器禁止条約

アメリカと同様、何と日本政府も反対した。オバマ・安倍の広島訪問は外交ショーだった。